

目 次

第1章(Chapter 1) 医薬品に共通する特性と基本的な知識

1-I 医薬品概論	1
1) 医薬品の本質	1
2) 医薬品のリスク評価	4
3) 健康食品	7
4) セルフメディケーションへの積極的な貢献	8
1-II 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	9
1) 副作用	9
2) 不適正な使用と副作用	13
3) 相互作用と飲み合わせ	15
4) 小児・高齢者・妊婦、授乳婦等への配慮	18
5) プラセボ効果	24
6) 医薬品の品質	25
1-III 適切な医薬品選択と受診勧奨	26
1) 一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲	26
2) 販売時のコミュニケーション	28
1-IV 薬害の歴史	31
1) 医薬品の副作用等に対する基本的な考え方	31
2) 医薬品の副作用等に関する主な訴訟	32

第2章(Chapter 2) 人体の働きと医薬品

2-I 人体の構造と働き	39
1 胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官	39
1) 消化器系	39
2) 呼吸器系	51
3) 循環器系	54
4) 泌尿器系	65
2 目、鼻、耳などの感覚器官	69
1) 目	70
2) 鼻	73
3) 耳	75
3 皮膚、骨・関節、筋肉などの運動器官	77
1) 外皮系	77
2) 骨格系	80
3) 筋組織	82
4 脳や神経系の働き	83

1) 中枢神経系	83
2) 末梢神経系	84
2-II 薬が働く仕組み	87
1) 有効成分の吸収	89
2) 有効成分の代謝と排泄	92
3) 薬の体内での働き	95
4) 剤形ごとの適切な使用方法	96
2-III 症状からみた主な副作用	100
1 全身的に現れる副作用	101
1) ショック(アナフィラキシー)	101
2) 重篤な皮膚粘膜障害	101
3) 肝機能障害	103
4) 偽アルドステロン症	104
5) 抵抗力の低下	104
6) 出血傾向	105
2 精神神経系に現れる副作用	105
1) 精神神経障害	105
2) 無菌性髄膜炎	106
3) その他の精神神経系の副作用	107
3 体の局所に現れる副作用	107
1) 消化器系の副作用	107
2) 呼吸器系の副作用	109
3) 循環器系の副作用	110
4) 泌尿器系の副作用	112
5) 感覚器系の副作用	113
6) 皮膚に現れる副作用	115
7) 副作用情報等の収集と報告	117

第3章(Chapter 3) 主な医薬品とその作用

3-I 精神神経に作用する薬	119
1 かぜ薬	119
1) かぜ	119
2) かぜ薬の働き	121
3) 主な配合成分	121
4) 副作用と相互作用・受診勧奨	133
2 解熱鎮痛薬	136
1) 痛みや発熱が起こる仕組み	136
2) 解熱鎮痛薬の働き	136
3) 主な配合成分	137
4) 相互作用と受診勧奨	147

3	眠気を促す薬	149	
	1) 主な配合成分	149	
	2) 相互作用と受診勧奨	153	
4	眠気を防ぐ薬	155	
	1) 主な配合成分	155	
	2) 相互作用と受診勧奨・休養の勧奨	157	
5	鎮暈薬(乗物酔い防止薬)	159	
	1) 主な配合成分	160	
	2) 相互作用と受診勧奨	164	
6	小児鎮静薬	165	
	1) 主な配合成分	166	
	2) 受診勧奨	167	
3-II	呼吸器官に作用する薬	168	
1	鎮咳去痰薬	168	
	1) 咳や痰が生じる仕組み	168	
	2) 鎮咳去痰薬の働き	168	
	3) 主な配合成分	169	
	4) 相互作用と受診勧奨	178	
2	口腔咽喉薬と含嗽薬	179	
	1) 口腔咽喉薬と含嗽薬の働き	179	
	2) 主な配合成分	180	
	3) 相互作用と受診勧奨	184	
3-III	胃腸に作用する薬	185	
1	胃の薬	185	
	1) 胃の不調	185	
	2) 胃の薬の働き	186	
	3) 主な配合成分	187	
	4) 受診勧奨	196	
	5) 胃の薬の服用方法	197	
2	腸の薬	198	
	1) 腸の不調	198	
	2) 腸の薬の働き	199	
	3) 主な配合成分	200	
	4) 相互作用と受診勧奨	211	
3	胃腸鎮痛鎮痙薬	213	
	1) 主な鎮痙成分	213	
	2) 相互作用と受診勧奨	215	
4	浣腸薬	217	
	1) 浣腸薬の働き	217	
	2) 浣腸薬の注入剤	218	
	3) 浣腸薬の坐剤	219	
5	駆虫薬	220	

1) 回虫と蟯虫	220
2) 駆虫薬の働き	220
3) 主な駆虫成分	221
3-IV 心臓などの器官や血液に作用する薬	223
1 強心薬	223
1) 動悸と息切れ	223
2) 強心薬の働き	223
3) 主な配合成分	224
4) 相互作用と受診勧奨	227
2 高コレステロール改善薬	228
1) 血中コレステロール	228
2) 高コレステロール改善薬の働き	230
3) 主な配合成分	230
4) 生活習慣改善のアドバイスと受診勧奨	232
3 貧血用薬(鉄製剤)	234
1) 貧血	234
2) 鉄製剤の働き	235
3) 主な配合成分	236
4) 相互作用と受診勧奨	237
4 その他の循環器用薬	238
1) 主な配合成分	238
2) 相互作用と受診勧奨	240
3-V 排泄に関わる部位に作用する薬	241
1 痔の薬	241
1) 痔	241
2) 痔疾用薬の働き	242
3) 外用痔疾用薬の主な配合成分	242
4) 内用痔疾用薬の主な配合成分	245
5) 相互作用と受診勧奨	247
2 その他の泌尿器用薬	248
1) 主な配合成分	248
2) 受診勧奨	250
3-VI 婦人薬	251
1) 婦人特有の症状	251
2) 婦人薬の働き	252
3) 主な配合成分	252
4) 相互作用と受診勧奨	257
3-VII アレルギー用薬	258
1) アレルギー	258
2) アレルギー用薬の働き	259
3) 主な配合成分	259

4) 相互作用と受診勧奨	264
3－VIII 鼻に用いる薬	266
1) 鼻炎	266
2) 鼻炎用点鼻薬の働き	266
3) 主な配合成分	267
4) 相互作用と受診勧奨	270
3－IX 眼科用薬	271
1) 眼科用薬の働き	271
2) 主な配合成分	273
3) 相互作用と受診勧奨	279
3－X 皮膚に用いる薬	280
1) 外皮用薬の働き	280
2) 殺菌消毒成分	281
3) 痒み・腫れ・痛みを抑える成分	285
4) 肌の角質化・かさつきを改善する成分	295
5) 抗菌成分	297
6) 抗真菌成分	299
7) 頭皮・毛根に作用する成分	302
3－XI 歯や口中に用いる薬	304
1 歯痛薬と歯槽膿漏薬	304
1) 歯痛薬(外用)の働き	304
2) 歯痛薬(外用)の主な配合成分	304
3) 歯槽膿漏薬の働き	305
4) 歯槽膿漏薬(外用)の主な配合成分	306
5) 歯槽膿漏薬(内服)の主な配合成分	307
6) 相互作用と受診勧奨	308
2 口内炎用薬	309
1) 口内炎用薬の働き	309
2) 主な配合成分	310
3) 相互作用と受診勧奨	311
3－XII 禁煙補助剤	312
1) ニコチン置換療法	312
2) 禁煙補助剤の働き	313
3) 相互作用と受診勧奨	315
3－XIII 滋養強壮保健薬	316
1) 主な配合成分	316
2) 相互作用と受診勧奨	325
3－XIV 漢方処方製剤と生薬製剤	326
1 漢方処方製剤	326

1) 漢方の考え方	326
2) 漢方処方製剤	328
3) 相互作用と受診勧奨	330
2 その他の生薬製剤	331
1) 生薬の考え方	331
2) 生薬成分	332
3) 相互作用と受診勧奨	334
3－XV 公衆衛生用薬	335
1 消毒薬	335
1) 感染症の防止	335
2) 消毒薬	335
3) 主な殺菌消毒成分	336
4) 誤用の際の応急処置	338
2 殺虫剤と忌避剤	339
1) 主な衛生害虫	339
2) 主な殺虫成分と忌避成分	345
3) 殺虫剤と忌避剤の主な剤形	348
3－XVI 一般用検査薬	350
1 尿糖・尿タンパク検査薬	351
1) 尿糖値・尿タンパク値に異常を生じる要因	351
2) 検査結果に影響を与える要因	352
3) 検査結果の判断と受診勧奨	353
2 妊娠検査薬	353
1) 妊娠の早期発見の意義	353
2) 検査結果に影響を与える要因	354
3) 検査結果の判断と受診勧奨	355

第4章(Chapter 4) 薬事に関する法規と制度

4－I 医薬品医療機器等法	357
1) 医薬品医療機器等法の目的	357
2) 関連事業者・医薬関係者の責務と国民の役割	358
3) 登録販売者と販売従事登録	359
4－II 医薬品等の分類と取扱い	363
1) 医薬品の定義と範囲	363
2) 法定表示と法定記載	385
3) 医薬部外品・化粧品と食品	391
4－III 薬局と医薬品の販売業	402
1) 許可の種類と許可行為の範囲	402
2) 医薬品の販売方法	422

3) 医薬品の情報提供の方法	428
4) 医薬品の陳列	440
5) 薬局と店舗における掲示	445
6) 医薬品の特定販売	447
7) 偽造医薬品の流通防止	450
8) 薬局開設者と医薬品の販売業者の遵守事項	456
4-IV 医薬品の販売に関する法令遵守	459
1) 適正な販売広告	459
2) 不適正な販売方法	465
3) 行政庁の監視指導と処分	466
4) 苦情相談窓口	474
別表4-1 医薬部外品の効能効果の範囲	475
別表4-2 化粧品等の効能効果の範囲	482
別表4-3 特定保健用食品：これまでに認められている主な特定の保健の用途	483
別表4-4 栄養機能食品：栄養機能表示と注意喚起表示	484

第5章(Chapter 5) 医薬品の適正使用と安全対策

5-I 医薬品の適正使用情報	487
1) 添付文書の読み方	488
2) 製品表示の読み方	499
3) 安全性情報の提供	503
4) 安全性情報の活用	505
5-II 医薬品の安全対策	508
1 医薬品の副作用情報の収集・評価・措置	508
1) 副作用情報の収集	508
2) 副作用情報の評価と措置	512
2 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の報告の方法	513
5-III 医薬品の副作用による健康被害の救済	515
1) 医薬品副作用被害救済制度	516
2) 医薬品副作用被害救済制度の案内	517
3) 医薬品 PL センター	520
5-IV 一般用医薬品に関する主な安全対策	521
5-V 医薬品の適正使用のための啓発活動	524
別表5-1 「してはいけないこと」	525
別表5-2 「相談すること」	535
別表5-3 医薬品・医療機器等安全性情報：一般用医薬品に関連する主な記事	546
別表5-4 企業からの副作用等の報告	548
別表5-5 医薬品安全性情報報告書	549

参考	主な情報入手先と受付窓口	552
----	--------------	-----

索引	554
----	-----

要点一覧	573
------	-----

漢方処方製剤のまとめ	616
------------	-----

生薬成分のまとめ	622
----------	-----